

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
平成 23 年度 第 2 回医学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

I. 日 時：平成 23 年 9 月 2 日（金）18:30～20:50

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：福島委員、吉岡委員、中木委員、渡辺委員（ネット）、高松委員  
（事務局：井端事務局長、森下主幹、平田職員）

IV. 検討事項

医学教育モデル・コア・カリキュラムを効果的に実施するための教育改善モデルを提案することを目標としている。まずモデル案を作成し、パブリックコメントを求めて、修正を加えて提案する。

3つのモデル案を昨年度作成したが、パブリックコメントを求めるとしては、ブラッシュアップが必要で、前回の委員会で意見交換を行った。それに基づいて、担当委員から修正案が提出され、最終案作成のため2回目の検討を行った。

1. 学士力（コアカリ）の実現に求められる教育改善モデルの取りまとめについて

3つのモデル案について、形式、記載項目と内容の整合性などについて順次検討を行った。

(1) 振り返り学習

- ・前文と箇条書きにした到達目標を記載する。モデル・コア・カリキュラムから該当箇所を抽出し記載する。
- ・授業のねらい：現状の問題点を指摘し、それを改善するための提案であるという記載にする。
- ・授業計画：案の計画はシナリオに近い。どういう能力をどのような方法で育成しようとするものであるかを記載する。初年次に実施する意義、問題発見能力、自分や他者を振り返り批判する能力（改善しようとする力）を育成するなどを付記する。e-ランで自己学習⇒実習⇒振り返りで発見、これを効率的に行うには ICT が有効である。
- ・授業シナリオ：案の計画部分を移す。案のシナリオは内容・方法に近い。
- ・授業内容・方法：案のシナリオ部分を移す。語尾を「できる。」の形式にする。略号の説明を記載。
- ・期待される効果：それぞれの案の記載を1行程度にまとめる。ICTは数多くの事例を見ることができるとも記載。
- ・学習環境：ハード面はごく簡単にして、制度や仕組みを記載する。細かい内容でなく、包括的なものとする。

(2) ICT を用いた能動授業（Team-based learning (TBL)）

- ・前文と箇条書きにした到達目標を記載する。
- ・授業のねらい：現状の問題点を指摘し、それを改善するための提案であるという記載にする。
- ・授業計画：箇条書きにする。どういう学年で実施するか、知識の統合、グループダイナミクス等についての記載も加える。案の後半部分は学習方法・内容に移す。
- ・授業シナリオ：授業の流れを記載する。
- ・授業内容・方法：シナリオに沿って詳しく記載する。
- ・期待される効果：省察、問題解決能力、臨床推論能力、可視化等を箇条書きで記載する。
- ・学習環境：システム、人的体制など仕組みを記載する。レスポンスアナライザーについて簡潔に記載する。
- ・問題点：教育・授業方法の開発であり、それに沿った FD、支援システムの必要性について加筆する。

(3) 教育クラウドを用いた多職種連携教育

- ・前文と箇条書きにした到達目標を記載する。

- ・授業のねらい：案を簡潔にする。
- ・授業計画：案はシナリオに近い。どういう能力をどのような方法で育成しようとするものであるかを箇条書きにする。案はシナリオに移す。
- ・授業シナリオ：案の計画とシナリオを合わせて記載する。
- ・学習環境：システム、人的体制など仕組みを記載する。教育クラウドの構築、情報セキュリティの確保。
- ・問題点：情報セキュリティ、学習履歴を残すことの功罪、本音が出るか、バーチャルの限界。

(3) のモデルは、実現にはかなりの困難が予想される。

5年先を見据えた教育モデルの提案であるので、修正に当たっては目標を高く設定していただきたい旨の再度の要望がなされた。

## 2. 今後の検討スケジュール

モデル案を修正したものの提出期限は9月12日とする。それらを確認したうえ、10月にはパブリックコメントを求めたい。

次回委員会の日時については、後日メールにて調整することとなった。

以 上